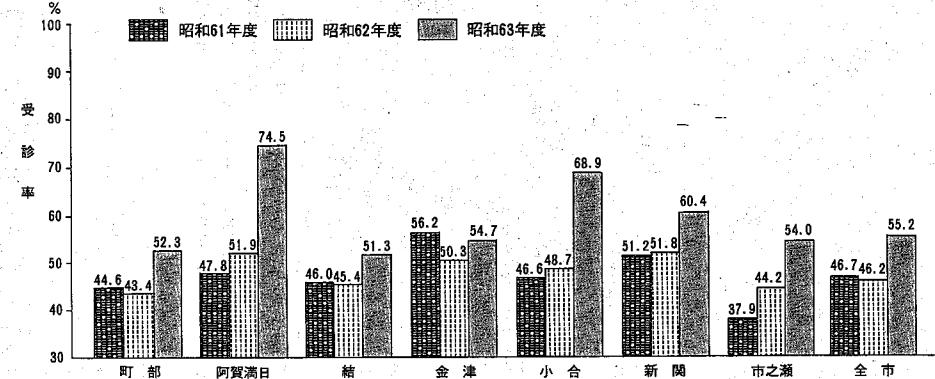
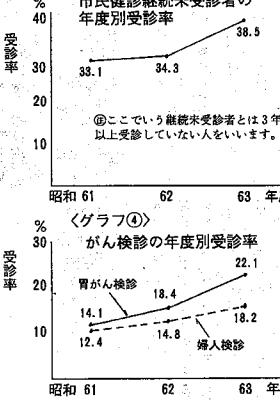
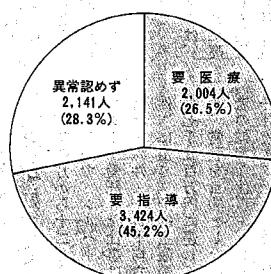


〈グラフ①〉市民健診の年度別・地区別受診率



〈グラフ③〉市民健診継続未受診者の年度別受診率

〈グラフ②〉市民健診の判定区分別割合(昭和63年度)
受診者数: 7,569人

健康は高齢化社会
会の大切な財産

成人病は、「一次予防」と「二次予防」の両輪によつて防ぐ必要があります。どちらが欠けてもいけません。高齢化社会に移行していく現在、健康であることは、大きな財産といえます。そのためには、日々のチェックと年一回の定期検診を忘れずに心がけるようにしましょう。

お買物、ご用命は市内で

手づくりの テリカ家

バレンタインは手作りのチョコレートを!
(アーラン・クリスマスラフラー・ショコラトスブレー)

2月 長崎屋 敬室

日	時 間	内 容	講習費
3日㈮	10:00~12:00	バレンタインケーキ	
10日㈮	11日㈮	バレンタインチョコレート	800円 お土産付
17日㈮	1:00~3:00	おひな様ケーキ	
	10:00~12:00	申込み・問い合わせ テリカ家 (24) 7936	

浴室からキッチンまで水まわりの増改築の専門店

水と住まいの専門店
システムショップ かねみや

INAX
本町2丁目 ☎24-1630

成人病の予防は日常生活の見直しがら

市民健診、がん検診の結果です

わが国の成人病による死「者」は、昭和六十年以来、がん、心臓病、脳卒中の順となっています。これらの成人病は、日常の長い間の生活習慣と深い関係があります。(つまり、不規則な生活やたばこ、アルコール、塩分の取り過ぎなど)が、成人病を発生させる共通点となつてゐるのです。

二月一日から七日までは、「成人病予防週間」です。今年では、市が成人病の予防、早期発見のために実施している「市民健診」や「がん検診」そして成人病を予防するための生活習慣などを紹介します。

市民健診の受診率は地区によって格差がある

まず、市民健診の受診率を年度別、地区別に見たものが五つのグラフ①です。年々受診率が高くなっています。しかし、地区によっては、受診率は、五五・二%になります。このことから、地区によってみると、阿賀満日地区や小名地区では受診率は高くなっているものの、町部や結地区では低くなっています。このことから、地区によって、受診率に格差があることが分かります。

今年度の市民健診の結果を判定区分別に表したもののが五つのグラフ②です。これを見れば分かるように、市民健診で「血圧が高い」

何らかの異常がある人が七割以上に

今年度の市民健診の結果を判定区分別に表したもののが五つのグラフ②です。これが見れば分かるように、市民健診で「血圧が高い」人は、全体の七・七%に達しています。

肝機能に障害がある

ど、何らかの異常を認めた人は、全体の七一・七%に達しています。

早期発見

なお、判定区分は、次のとおりです。

要医療

疾病の存在が明確な医療機関に受診する必要があると診断された人

要指導

すぐに医療機関で治療を受ける必要はないが、医師の指示のもとで、

異常認めず

健診の結果に応じた適切な日常生活上の指導を受ける必要があると判断された人

要検査

が、異常所見を認めないか、または異常所見があるても生活は続いている間に問題がないと判断された人

継続未受診者

で健診の受診を進んで、市民健診を三年

以上受診されていない人を対象に、はがきを出して、呼びかけを行っています。しかし、五つのグラフ③を見れば分かるように、継続未受診者の受診率は、年々少しずつは上昇しているものの、決して高い数字にはなっていません。今年度に限って見てみると、継続未受診者で市民健診を受けなかつた人は、千九百七十五人もいました。

成人病は、「習慣病」といわれ、長い間の生活習慣と深い関係があります。成年病は、「習慣病」になると、思われる病気になると、思われる病気になると、思われるかも知れません。進んで市民健診を受けるようにしてください。

胃がん検診でほかの病気も発見

胃がん検診の受診率も年々高くなっています。成年病は、「要精検」(何らかの疑わしい微候が認められる)と診断されました。このうち、精密検査を受けた人は四百三十八人で、百九十九人に胃、十二指腸カイヨウなどの病気が発見されました。だが、二百四十八人は異常が認められませんでした。

婦人検診で病気の発見率が上昇

最後に、婦人(子宮がん)検診の受診率を年度別に見てみた(グラフ④)。婦人検診の受診率も胃がん検診と同じように、年々高くなっています。成年病から各医療機関で、婦人検診が受けられるようになりました。このため、ボランティアや隣人などの病気の発見率も二倍近くも高くなっています。婦人検診も進んで受けられるようになります。

婦人検診で病気の発見率が上昇

最後に、婦人(子宮がん)検診の受診率も胃がん検診と同じように、年々高くなっています。成年病から各医療機関で、婦人検診が受けられるようになります。このため、ボランティアや隣人などの病気の発見率も二倍近くも高くなっています。婦人検診も進んで受けられるようになります。

「わんぱくメイト」誕生!!

積立保険期間は3~10年「ごめんなさい」+「補償」の自由設計です。

あなたの安心を企画する SIP (有) 横口保険企画

System Insurance Products システム・インシュアランス・プロテクツ